ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

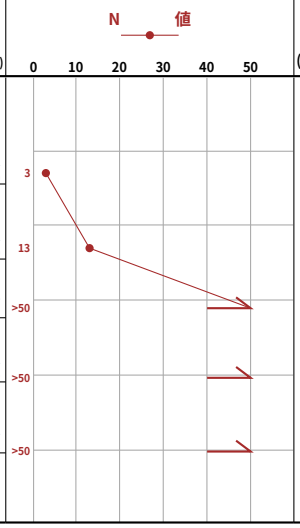
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-2	調査位置				北　緯	36 ° 47 ' 56.0000 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	2010-09-30 ～ 2010-10-05	東　経	140 ° 14 ' 48.4000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	240.80 m	角度	180°上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	5.05 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1 2					土石流堆積物 (Df)	褐 黄灰			[0.50]0.00～0.80m粘性土。上部は木根を含む。 0.80～2.80m礫混じり砂質粘土。 1.60mから礫を多く含む。		09/08 1.20
3	238.00	2.80	2.80		頁岩 (Sh)	黒			2.80～3.00mは無水掘削のため粘土化しているが岩片が残る。		
4 5	235.75	2.25	5.05			黒			3.00～5.00mは全体に細かい割目が多い。割目傾斜角度は20～30 ° が多い。. 4.50～4.70mに細粒砂岩を挟む。 4.50m付近に白色ペグマタイト脈を挟む。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／15	1	1／5	3／30	3
1.45					
2.15	3	5	5	13／30	13
2.45					
3.00	17	23	10／3	50／23	>50
3.23					
4.00	50／9			50／9	>50
4.09					
5.00	50／5			50／5	>50
5.05					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						09/30 10/01